常當山の敵を猛攻

「東京関通」河村忠嗣中將は「面に於るツ側の不恭行為に翻して持十四日わが方は張波峰方

敵遺棄死體

り判別すれば諸兵聯合のゲ・ペ・ウなりに遺棄せる敵の死體はその後調査の結果三十七、服裝より判別すれば諸兵聯合のゲ・ペ・ウなり

犯疑を提出した、

越振爆撃事件に関し一

重要協議

一時外務人民委員会部官宮川船夫氏

陸軍首腦部

一に終つ

(第を同して行動を開始し、同 は本排聴感謝の湖面を蔽ふ朝 は本排聴感謝の湖面を蔽ふ朝

手を綴めず破竹の勢で踏石澗時には早くも對岸の佛座嶺を

北の省盛を越えて一路湖北省 補を占領した、同地より資権が まで除すところ七キロ絵り

黄梅の敵

護り難しと見た敵は早期來更 側よりのわが猛進撃に黄梅の のででは、東北南ののおびなができません。 関係のは、東北南ののないでは、東北南ののは、東北南ののは、東北南ののは、東北南ののは、東北南ののは、

派員を頭じゴルブツオフ總領 では八月二日午後駐哈下村特 日本の大学のでは八月二日午後日の下村特別の大学のでは八月二日午後日の下村特別の大学のでは、1000円のでは、

事に對し左の如き酸重なる抗

が、ツ側は何等之が反省是正 の處置を調ぜす且つ滅意ある 回答すら寄せざるのみならず ツ軍は七月廿九日以來同方面 た於て再び日満軍に對し不法 た於て再び日満軍に對し不法 が方は自術上止むを得ずこ で表するが、 のみならず のみならず

をにないて生ずるに にないて生ずる にないて生ずる

る鷽を軍的とソ洲拳國

黄梅まで餘すどころ七キロ

TATE

III.

A

吉川商會

~~板

样甲

八

東京着の韓特派大使

した【高眞は韓大使】

進的競展を遂げ懺たる獨立 きに獨伊四巌等 を受験うし經濟關係の提 製姿を敷うし經濟關係の提 製を促進すると共に防共の 大義に基く日滿兩國と獨伊 大義に基く日滿兩國と獨伊 大義に基く日滿兩國と獨伊 大義に基く日滿兩國と獨伊 大義に基く日滿兩國と獨伊 大義に基く日滿兩國と獨伊 大義に基く日滿兩國と獨伊

満州順三千萬民衆の興望を 施ひ献並助共枢軸の強化並 他の散趣助共枢軸の強化並 がに經濟提携を目指し晴れ の社間に就く滿洲國證外親

の御盛徳によるは勿論、貴の御盛徳によるは勿論、貴の御盛徳によるは勿論神を一般とせらるゝわが皇帝陛下の御徒とはらるゝわが皇帝陛下の御徒とはらるゝわが皇帝陛下の御徒とはらるゝわが皇帝陛下の御経の神経の一

圏は各民族をもつて構成さ 一行は一心一體となつて外といることとなった、使節 てゐるのであつてわれく 福本副團長等 大連發日本 特合所投資室に於て見送り 一年前十一時出帆のうらる丸 で出強した、出張に先立ち で出強した、出張に先立ち 離滿ステト 愛なる

日の日施官民、税職員、大連日の日施官民、税職員、大連 の姿を諸

電影を変はしこの二大脳國 の特別に関れましたことは の海間迎へを受けたるかの 心地し感慨に堪へぬところ であります、事に臍東州官 民各位および獨伊南國の方 をに厚く御醴申上げ祖國の方 をに厚く御醴申上げ祖國の方 をは使命達成に演述する どもは使命達成に演述する ともは使命達成に演述する

の觀測

亞細亞建設の現實を示現

共にこの學の意味を告げ親助問し貴國朝野に對し滿洲

る、出級に限し私は東京

の現實の姿とを書く列

し民族協和の理想を分を

日満不可分関係と大月本帝に對しわが建図の本義たる

峰における日ソ頃軍の個

御突坐

件につきタルツー各紙はツ聯 してあるが、ツ聯官邊は今回 の関境紛争は單なる無方的の 問題で、別に重大な職局が行 はれでゐるのではないとして ある、ボーランド各紙もツ勝 は決して大規模の軍事行動を なすやうな氣動はないと報道 大改革来を提出し慣重審談したが、先づ長興總成より先月十六、先づ長興總成より先月十六、大改革来を提出し慣重審談したが、問題が極めて東大であるため各評議員は熱心に討議を重ね會議は前後四時間線に及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、江口及び午後六時十分散會、 【東京國通】 売木文部大臣の 政革案を中心に協議する東大 野議會は、一日午後二時から 野議會は、一日午後二時から

同

今日の会議において私は去る七月廿八日文部大臣を許諾會に示して考慮をお野議會における大臣の要認と認識の内容を許諾會に示して考慮を不要認したが評議會に示して考慮を不要認したが評議會に示して考慮を不受との通りであるので、大學の使命達成と思談の内容をと思ふ、もし運用と代表をであるので、光分な行政上と思ふ、もし運用との供置に協協した。この根據を有し、多年の供置に協協した。この根據の手續さな行政上との表表を開達されて限重に協協した。この根據を有し、多年の供置を指表した。

(メリヤス商)同

本学の場合は、「三和ゴム)・
本学の場合は、「三和ゴム)・
本学の場合は、「三和ゴム) 同人中が昭彦氏(宮東)同人中が昭彦氏(宮東)同人中が昭彦氏(宮東)同人中が昭彦氏(「四)同人市が島秀海氏(収鏡商)同人中島秀海氏(収鏡商)同同同同

(大郎氏 () 同 () 同

位氏(衛船員)局 代(蘇繼士)同代(蘇繼士)同

ハたつくつを「かるれは喰るふ喰」

寫實の作製ンチルーオドルセ

鵜の巣圏 生活等!

信無虚でふ狙。笛のしかやあり實秘 たれ飢り入師中道・童怪・人怪密際

【上海一日愛園通】漢口來電によれば、ポ に蜂の報道で悲観と憤懣をまきちらしてゐる、 満洲國承認意向に 所悲鳴をあぐ

波蘭を聯盟から放逐せよど暴論 ド政府が順洲國を承認するとの報道は國際援助を唯一の戦りとする國民政府としては正に泣

満洲國を承認すれば聯盟及び聯盟加入國の體而を毀損すること」なり、聯盟としてはボーランドを聯盟より放逐するか或は何等は國際聯盟加入國であるから同國の滿洲國承認問題は獨伊爾國と自らその性質を異にするものである、即ち聯盟の決議の手動ぶ 即ち漢口政府機關紙大公報は一日附朝刊にこの問題を収上げ左の如く論じてゐる ならず何等かの報復手段に出なければならぬ

三時卅七分特急富士で東京្

ソ聯の不法を指

洲國殿重

は 横大の 核標がないとの 見透 最近の 傾向を見るに日 7 単なる 地方的 粉 手 単なる 地方 的 か 手 単なる 地方 的 か 手 なし直もに自動車で宮城前に 室り皇居を適罪の後、避谷の 自宅に入り次の如く語つた 昨年大命を拜し満洲に渡つ たが部下の將兵を緩してひ

南、杉山前韓相、多田縁謀文 ・ 東條韓軍次官その他在郷 ・ 東條韓軍次官その他在郷 張鼓峰事件は

如くである。如くである。 日本とツ聯との間に離野になるとは全人異の大立場が、 要するに極東の動きることは、 要するに極東の事件はとは全く異つた立場が、今日でであるが、今日でであるが、今日でであるが、今日でであるが、今日でであるが、今日ではならりなが、 要するに極東の事件はならりない。 選出 データ 大公子 マ 放 送

中述 デマ放送 「京城園面」朝鮮軍一日午後 十一時五十五分競表 今次事件について例によっ でソ支側はデマをとばし「 でリンが加き噴板に堪へざる 虚構なる放送に隨起となっ でをり内外人の嘲笑を受け でをり内外人の嘲笑を受け でを受け、本日午後 が、園焼にて東方を爆撃」 甚しき は「哈爾濱を爆撃」 甚しき は「哈爾濱をとばし「 でをり内外人の嘲笑を受け でをりたが加き噴板に堪へざる とは「一日午後 が、高端にて東方をとばし「 でをりたが、本日午後 が、高端にて東方をとばし「 であり、本日午後 が、高端にて東方をとばし「 であり、本日午後 が、満洲 り、園焼に近き羽餅、満洲

展兵間に小規模の紛争が繰泉近の傾向を見るに日ソ南

の日

特派員を通

をもつてこの旨松尾宗教局長より各宗鑑管費及び数個代表者に通牒を發した。なほ文部者に通牒を發した。なほ文部表を招集して具體的な對支布表を招集して具體的な對支布 大がずん。

帝國政府

▲山田高氏(南海工架) 往 H ふところ □ 7

本事を言ふれてくれ 心しず てるは

だが再び来つたボー

の時も近いの背近く、関府職落 と虫のいる事なり 落日の前の名残りの光芒とい支那共産黨が大倉を開く、

ら に即かねその不法は断乎挑拭 のみ

ベリカント

獲鯨を仕止める

撞木ザメの捕

メ豹ザ

海けお

北安の編山調査に乗出した、 ・北安の編山調査に乗出した、 ・大地震研究所の北支調査園 開所長行本已四雄博士、助教 提高橋龍太郎博士等六名が一 が盛んに提習されてある折約 が盛んに提問されてある折約 が盛んに提問されてある折約 石本博士等渡支

決するなが、 はなるが決してあるに対してあるに対してある。 を小・競響は出るをが決してが対しても を小・競響は出るをが対す何れる。 とが解決に出るならに過ぎない、今 を小・競響は出るが今がの解析としてが をの解析が今回の場所を をの解析を としたが会としたが としたがった。 としたが会としたが とい、今 ははなるが、 としたがった。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 はのである。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 は多年にわる。 はのである。 はのでなる。 はのでなのでな。 はのでな。 はのでなのでな。 はのでな。 はのでな。 はのでな。 はのでなな。 はのでなな。 はのでなな。 はのでなな。 はのでななな。 は

日夜陸相官邸において被垣陸 相を中心に首脳部縁集軍要協 王前錦州省長

今回側州省長を辭した王滋棟 任けることに内定したので、 近く一家を罪げて奉天に轉任 すること」なつた 航軍役に内定

中同間~

ス上海ブトツフもさ暑無 念無りあ味快肚ツーボ ! りあみし楽の想

のはどうも不便で困る、日本 内地どの都市へ行つても共同 便所を設けて無い都市は無い 早く國都でも作れとの際は全 された問題であつて、從來養 された問題であつて、從來養

本橋通吉野町交叉活金象洋行 大本橋通吉野町交叉活金象洋行 地下室に便所を設置すること 地下室に便所を設置すること 地下室に便所を設置すること はなつてゐる、この結果好成 になつてゐる、この結果好成 になつてゐる、この結果好成 と連絡を取つて全市に設置す

日 時五分南陽から岡門に入り、 「原、事天、無順、大連を經て 東に和歌山縣教育會主催の滿 更に和歌山縣教育會主催の滿 更に和歌山縣教育會主催の滿 一大日長野歸濟の豫定である して中學、師題教諭、小學校長 十大日長野歸濟の豫定である で為受難終團一行十七名(主と して中學、師題教諭、小學校長

-七萬五千木、マー

を種々な特殊の條件に縛られてお洗れとなつてしまつた。 首都警察護衛生科ではこれで はならの何かよき方法は無い

長野、和歌山縣下

三十日の関名大浸水に関名の下水計選、深電所の浸水等で下水計選、深電所の浸水等で設備の不完備を暴露して一朝事あつた場合を考慮して問題を超してゐるが、新京特別市公署では避難民の救済事業を超す一方この大自然の教訓に対して、

電池機関二百馬力の他にデー をルエンデンを増設して一朝 をなつても電油をもつて發電 したなつても電油をもつて發電

傷病兵

着京

を観察する豫定である

金泰横三角地帶に

共同便所設置

瀟洒な地下室で經費七千圓

一大日 喧 永下

金物は

新京神社



一十日 から

空本訓練 地域的に燈 豫告な 火管制基礎訓練 の本演習に備ふ

十二日(金)長來區一個十二日(土)大經區一個十二日(土)大經區一個十二日(水)寬城區一個十七日(水)寬城區一個東站十七日(水)寬城區一個東站

型に入ることとなつてある、 時より午後十一時迄、非常管制は年後八年後十時より一段十一時迄、非常管制は年後八時三十分同第二回は 年後十時より三十分同第二回は 年後十時より三十分同第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分間第二回は 一年後十時より三十分同第二回は 一年後十時より三十分同第二回は 一年後十時より三十分同第二回は 一日で後九時より同九 一日で後九時より同九

週路警察署 (長 禍を轉じて福

▲十七日 覧城子警察(寛城 昨夜來京した三角地帶の歸順 「東站の訓練」 本十五日 順天警察署(順天 「京光區の訓練」 「な目指し頗る張切つてゐら 経、東站の訓練」 「な目指し頗る張切つてゐら にアデーを表するが部員は本

第一軍々需部長、三十二歲) 與英(中央南滿省委柳河縣委 員、當三十一歲)胡夙臣(元 員、當三十一歲)胡夙臣(元 納凉觀

滿鐵航空研

三日練習開始

育社、観光協會 ・ 日から實施さ ・ 一日から實施さ 異常なく運行



神戸勝つ

對吳野球戰

電話と金融店員

新京慈光路四〇一 病

* 病

新京自営取引所取引人

電響 入 江 語 (**)

11000

在瀬日本教育會、同大使館教務部主催の第一回教育講習會はさる七月廿九日から白瀬汉で開催されてみたが、二日全科目の講習終了、正午から成科目の講習終了、正午から成科目の講習終了、正午から成 教育講習會終る

(養別) (90 | 214)

電話



試受試資 驗付驗 日/科 *時切目格 手見智募 株式 會配 學 八月八日迄 算術、讀方、適性試験
非常の身體強能なる日人女子
高等女學校卒業者(高等小學校卒業者にても可)年齢二十 八月十日 午前九時(同日午前八時三十分迄)





日朝來新京神社が相協力して費 並に新京神社が相協力して費 並に新京神社が相協力して費 がに勝手した府織・金物類の 行に勝手した府織・金物類の 行に勝手した府織・金物類の 行に勝手した府織・金物類の **職は殆ど一ばいとなりこれ等 ある(寫眞は趾殿内の献納符) 股内に設置された四つの献納 宜を得た計畫と協評を博してきも切らず、午前中に忽ち趾 心を易めること」なり誠に時を持巻しつ、参拝するもの引 般的にも敬沖思想と貯汚洒蹇**

の種類は銀紙、著針類の小な 大なるものは古バケツ、如繁 はであるが、後來各家庭で始 末につかなかつたこれ等の品



を訪問挨拶を述べた(倉員はを訪問挨拶を述べた(倉員は 光

には貯金通帳、生命保險證書

パック、扇子等は勿論中

至 21 10

にスとして交通 でれてゐるが、 の連絡の不備で の連絡の不備で が乗込まず折角

リヤが主にはぐれて場内をさ をよつてゐた、同犬は観光協 でられたい でられたい **※洲チーム勝つ**

女給五六名多性に付至急入川女給五六名多性に付至急入川女人美、委嗣祖談、本人御楽献下さい、

世村里直店

谷機關を網羅根本對策研

一日より發賣された畜産局の 第十大回膝插整票の裏面に記 施書金算出欄の第三著配當率 「二成」(二割)とあるは 不 「二成」(二割)とあるは 不 「二成」(二割)とあるは 不 「二成」(一割)とあるは 不 「二成」(一割)とあるは 不

別等に 別自は二日朝東京市大森區久 か原町七八四、平山次男氏方 で逝去した、尚同科長は先股 危篤の報に勝郷中

する田田

の今晩主なる放送

本七・三〇國民歌語「航空唱 一本人・〇〇國民歌語「航空唱 一本大学、大阪)が本相生 大きが入れ・〇〇連續語歌(東京)大島伯鶴

政對 の野球 電 (西公園我場) (入場)

2

サ治

あ

-

*

吉林の満人煙草商が

質現を急いである

鷹じ得るだけの準備を爲古

年前九時四十二分釐列車で着 の白衣の剪士七十三名は二日 四門から新京陸軍病院へ入院

を暴行、教務限長の投授に對 と正倉員代表牡丹江省小城子 を暴行、教務限長の投授に對 した「富眞は附合式場」

機機である 機機である 機機である 機機である 機機である 斷乎處分せん

慶大職球部 ※ 連第二日全大通 で開始したが 慶應軍は佐 然好調を示し三野〇とまたも を放い補州軍を退けた 変したが 慶應軍は佐 を放い補州軍を退けた を変したが とまたも 慶大勝つ 對大通減人軍減球缺 ▲顕珠、法政對電樂

頭に總計二千七百萬本の煙草東の二千二百七十四萬本を筆東の二千二百七十四萬本を筆

に IJ 扨て弊院 乳電マ鉄 中 御 切をモ

前 め 止ます

年厚い慰めの際を受けつ、直 中心とする多戦出迎へがあり 中心とする多戦出迎へがあり

交通部、電業

3

| 曾期は七日間
| 日から寶山で開場した本社
| 後援新京観光協會主催のスタ
| ツブ展は市中の人場をさらり
| 第一日の入場者は一萬人を算
| へられ、場内は蒐奨家が各自
| の集印帳に捺印する音で濃闘
| 最を呈してゐるが、此の混雑

スタンプ展

電 菜 21 − 11 **開** 菜 21 − 17 **開 減** 瓦斯

滿粱

市公易

交通部

郵政職養

会三時半より日鴻商事コート 後三時半より日鴻商事コート く交通部ト電報が膀残つた △一回眼

排球大會第一日

用文具品具

愛顧に酬ひ奉らん覺悟でお座います何本一層の御引立の程お願申上ます 政府の物價引下げ方針に則り弊品では益々研究努力誠を致して御

本橋通 和洋帳簿 會合社名 専門の店

· 島 三大 = 館

よびとみとみとみとみとみとなしてとれるとれるとれるとれとれるとれるとれるとれるとれと

食堂經營者を求む

滿洲國通信社庶務部

る店としての信條の下に不斷の努力を續けて居ります

文具の林洋行は常に時代に即した堅實なる優秀品を最低値段にて提供す

元におよれまれましてとれるようとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうと

銀幕銃後の

四日桂四

の耳に稲垣浩

督監

昨年度最高人気女優と

いて半歳!

夕起子さ

阪

妻

33

3

名大衆

獨特自慢の自製靴

景店

夕起子

超豪特版

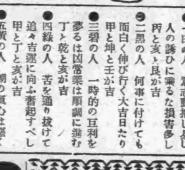
宋管グ「「ハ」映L時間マネキ
京新

使用等々……

吉林省公署實務

戦と云ふ事になって来た に合せなければたらぬし、 に合せなければたらぬし、

日本人同志である以上、別に 本人は知らぬ顔してゐたが、 本人は知らぬ顔してゐたが、 本人は知らぬ顔してゐたが、 今度聽教を連れて來てあげや う、どうです禮教に相談して



に於ける賣子を募集す右の問合せは中茶屋事務

所へ

(お茶子)及日鮮滿人を問はず

場內

THE ENGLISHER PROPERTY OF THE PERSON OF THE

御壽司折詰の御註文は

電話③五八〇七京花へ御願申上

ます

阿片禁斷徹底

電話③三二八三浪花すしへ御願ひ申

社内で脳行されてゐる等々、社内で脳行されてゐる等々、

この方がおもしろ味が

大日本相撲協會 洲夏

中茶屋經營綜合事務所

十故何卒御早く御申込の程御願申上ます

る一切の御用命は特に懇切御便宜に御取計ひ致しま

右興業期間中各種團體相撲観覽に付き中茶屋に關す

八月六日より四日間

1/1

漏人向邦書の

篇凉爽大二竹松。捲席界畵映服征暑酷!行興大別特

座

七り

工質 野さんは安くて面白い 屋

クッを喰べて舌

あるし、けど自由だわない所だわべっまはこ 7 15

等王か? 佐幕か? 佐幕か? 原京名物祗園 祭を背景に勤王 祭を背景に勤王 を兄弟の熱烈なる祖園愛と 適切妥當 時節柄 手法を以て擔(長竹京和超特件映畵を巧多島監督一説の情緒響かな機器なる 伏見信子 共演 品作特超竹松 高经錦之助· 根上米子。 最上米子。 最上米子。 太郎 篇朗明調船大心中の味與脱洒妙輕 巨層民の 談を蹴ってお定りの社會研究の名 目で飛び出しましたが ふ大實業家の 顔を洗ふ水も汲んだ事がないと云 主二演役 天野 双一中村正太郎 中村正太郎 柳さく ソコで彼女は何を覺え 野。 田の 笠 智 衆・大山健一 ・ 大山健一 ・ 大山健一 ・ 大山健一 ・ 大山健一 八五錢 六五錢 たてせう? 日曜十二年 令嬢が貧乏男爵の縁 浩 三日堂 監 子雄 演 0111 0 n ーテパのKR 回收出来ないんだつで おてんや 食 封 信通際國 盟同東部大 ブ 1 切

折食 進北支交通会社の東西の最上によります () 野園の東上によります () 野園に変しては大村浦線副總裁並に同社を見てゐる、すなはち浦織北の東上によります () 野園に進んでをり、 る () 野園に通んでをり、 る () 野園に通んでをり、 る () 野園に関係をしている。

現地並に中央當局に於て具體 原東交通會社案に關しては目下 間

人月以降に於ては從來池禮恒 向にあつたわが輸出關係產業 向にあったわが輸出關係產業

濟電報

銀爲替銀行間

史に六種目を追加

本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論する方針を決定し、 一本を質論では大道三品の他五品は明年十月一日より、小麥そ 一本を質論を一本で表別。 一本を質論を一本で表別。 一本を質論を一本で表別。 一本を質論を一本で表別。 一本を質論を一本で表別。 一本を質論を一本で表別を有能では大道三品を通過で表別を表記されてある。 一は多ので大道三品では著しくその質的北ず の統副を實施する場合とは著しくその質的北ず を論出統制を目標としての同 ・本本年十月一日よりに 一本を質論を記述されてある。 一は変う第二義的となう事 の統副を實施する。 のをも のをも のでも 生 通智社の6条管社とするかは 生 通智社の6条管社とするないが、何れ にしても質質的に北支交通會 し 社との深い通繁を保たせると 受通會社問題と共に満鎌の管 安通會社問題と共に満鎌の管 対注目を置いてある

九月限 本学・ル株 五八強八分七九月限 本学・ル株 五八強八今七 大六仙八分七 大六仙八分七 大六仙八分七 大六仙八分七 大六仙八分七

各地特産市况

主二十九八現 | 古二十九八現 | 三二十九八現 | 三二十九 | 月月月月日 | ●月月月月月日 | ●月月月月日 | ●日月月月月日 | ●日月月月日 | ●日月月月日 | ●日月日日日 | ●日日日日日 | ●日日日日 | ●日日日 | ●日日 | ●日日

110000

111855 113858

1 883 が間は、

開路 の一点に 1 至至六六

二二

三三三

▲大阪綿糸

各地商品

市 况

出來高 『織は今更助か 高一の健倖を醸って壁信 唯、今他がこ

を で君に出合った事は天佑だ。 今これから触が渡すものを、 君は常にかへても日本地の最 ではないなっても日本地の最 ます、どうか、姿にそれをや 高司令部まで届けて貰ひたい 男の言葉には、重い威略すい。ごちらだ……?』 11.40 2.43 5.45 母 0 1.37 4.43 = 白瀧

2.17 5.58

せれて初めてご云 でうな感謝に、總 が 電子

生れて結めてされ

話電

務

3代

○ 麦

設 勞ト運倉金保

事

所

他

七月三十日より封切 階下九十錢 12.00 3.31 7.12 H 鈴 森 4 2.49 4.13 7.54 4.33 8.14 日 海 1.02

京

豊樂馴場

映画御楽内

營業御 案

造及市內運搬 引越荷物送及運送取扱 通關代辨

人夫供給

國際運輸

| 支店長席 九八七六五四三一〇九八七六五四三二一二 離新京支店 其 0 設度

九五三五三二五六二四六四二二六〇八六二 一二七八三 一八五一〇六一四六五六八二 三三五八一九九八一八四三九八五八六七五 〇八一九五一七〇〇一二五六五九八二九

京

眼 第二十六六四六卷

知 識

AMAGURI-TARO ・ 基本部 お土産には 新京・銀座 ・ 第③ 三七七八七十二

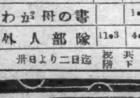
POTTO TOTAL PORTION OF THE PORTION O

茅里

あったのであり、外程









品商扱取 セメント村炭

口活商事株式 雜硫 蓏 物定

は、日本軍のこの地方への連 は、日本軍のこの地方への連

十日ンの役

灭

杏

堂

州張斯

新京キネマ 野京キネマ 関

悪い あった おった おった おった れて 追楽劇場

では、 の 足をはかるため廉徳十年度の に 作付総計一萬八千町歩生産量 と 宣五ケ年計整を樹立明年度よ と り實施することになつたが、 本天省常局では中央政府の方 本天省常局では中央政府の方 本大省常局では中央政府の方 本大省常局では中央政府の方 本大省常局では中央政府の方 本大省常局では中央政府の方 本大省常局では中央政府の方 本大省常局では中央政府の方 本大省常局では中央政府の方 本大省に続き管内に於る領草均能 本大省にある。 本大名では、 本たるでは、 本では、 本では、

日で明年度より實施に第手すべく目下質業廳農林科において、クタール、生産量百二十萬賞となつてをり、これがため從となつてをり、これがため從となつてをり、これがため從となつてをり、これがため從となってをり、これがため從となってをり、これがため從となってをり、これがため從となってをり、これがため從となってをり、これがためば、海線を開発した。

批為遊遊

置き用取

いって、さこへ行けるものか がって、さこへ行けるものか いこんな恰好で、こんなに弱った像が、よし、この穴倉をつた像が、よし、この穴倉を が問は、そ

極か臨し合ひながら、こちらに近づいて来る人の起音が地 に近づいて来る人の起音が地 た道の中に反響して来た。

何を覺えたか 16:5 6.27 1 7 6 59 11-3 4-- 2 9-14 十餘

> 修羅山意大會 = 2 母よ安らかに

その時である。

部員はそれをズボンのギケ

煙草增產三年計畫

国邦 英國程度の出資 薫画程度の出資

物株工流域の運輸業に携はる 関江航行業者は水電メム建設 の主旨に副ひ同地方の産業副 の主旨に副ひ同地方の産業副 が飛船を建造し領職に從事し来 つたが最近左の如き事情によ ったが最近左の如き事情によ ったが最近上ののでこれが り不況に當面したのでこれが り水電メム工事は消鮮雨岸より 夫々百十米づムの假突堤を標 奉天省當局

東京株式(短別)

をれをそのま * 彼せばい * んだっさうだ、それが大切なんだ

等王.祗園會 (東野太郎 主演 東京野太郎 主演

-

ス

これ、これでございますか

電部2

未

12-00 3-05 6-05

2025 4035 8035

12.20 8.25

四〇五

各地株式市沢

本 零天市常局は工業助成の一策 本 実工業會館 こと」なった

来る十月上旬正式に設立する 極々協議中であつたが、漸く 極々協議中であつたが、漸く

對英寶 二八弗 八分五 一十二八弗 八分五

近く當局に陳情せん

三 「うむ、その歌切は荷藤いが、楽する前には、絵程に が、との歌切は荷藤いが、楽する前には、絵程に が、との歌切は荷藤いが、楽する前には、絵程に りした態度でそう云った。 りした態度でそう云った。 ものではあったが、楽なく、、 その質様は、非常 そのではあったが、 をのではあったが、 をのではあったが、 をのではあったが、 をのではあったが、 をのではあったが、 とのにきまって、 をのではあったが、 をのではあったが、 とのにきまって、 をのではあったが、 とのにきまって、 をのではあったが、 とのにきまって、 をのではあったが、。 が、その語調な 風れがなく

虫

泣

9.05

9.25

0

座

者もない唯の報属に過ぎない できないではないでもなか るやうな氣がじないでもなか るやうな氣がじないでもなか るやうな気がじないでもなか で見るさなんの総 麻綿であった。 さ一尺前後ごも思はれる細いさ一尺前後ごも思はれる細い。長

> 僧 12 0 15 族 5.05 八月二日より三日間上映 階下四十錢 朝

> > 話電 (3) ===== +==== 六八八九六 =八四八〇

(九十五) 軍が

男は、そう云ふさ、穴倉の鬼は、そう云ふさ、穴倉の鬼りもよく屈かないやうな験深い所にうづくまつてうな験深い所にうづくまつてであたが、やがてまた前面へ 遺び出して 出た

3.1 6.50

7.25

8.45

緑の地平線前篇

さ出 虎 徹 んた 3-19 7-18 ース

取資本 扱品 品 金 店

(所双共七五錢)

限 3

12.00 8.49 7.38 替安 及全 11 剃

の日

9 15 室室 着

医 重名

事役

太信號

『うむ、やってくれるか』 うむ、やつてく

新京ヤネマ

樹

印 12

Ale.

長山震動のほるのほるのほるの

委 託 賣 買

補されて以來八ヶ月在任期間は歴代司令官中最も短かかつたが黒龍松花雨江による関策を備に越々たる髪多の功績を変に豊せし功も亦勝からず園との展演いよく 急なるとき域の展雲いよく 急なるときずの氏が非常時帝國海軍を 家の同氏が非常時帝國海軍を

、大今に備の件の司軍監選少四会五

谷本少將榮轉

高額新軌浦福軍部司令官と常京の豫定である(寫眞はたり、日午後六時二十分あじあで日午後六時二十分あじあで日午後六時二十分あじあで日本の第二十十分あり、

はで同

谷本少将談話補審部司令官から練習艦

は落第だ』と同頭して左の如 室にて記者團と會見『滿洲に 一

大連伊總領事館

【香港二日發國頭】支那倒情

新高須四郎少

を収む

電にあり長江沿ひに湖北に入 本上の重要據點 手中に輝した宿松は安徽省の 西南端長江北岸に位する一陽 で大湖の西南二十八哩の地 地で大湖の西南二十八哩の地

る要衝を占めてるる、更に省 変を過ぎて湖北に入れば二十 塩を過ぎて湖北に入れば二十 塩を過ぎて湖北に入れば二十 原城ともに人口一萬内外の小 都會であるが、北に大別山系 の支脈覆ひ前に長江の天験を 整へ且つ宿松附近には多数の が、北に大別山系

昨日同方面に不供越境せるソ聯派行

聯飛行機よ

我方のため五機を撃墜されたるため本日はその行動一般に消極的なり

大なる變化なし、

動靜監視

的

チリ・朝 【頁二十刊夕朝紙本

^{留神居}。 后田 野院

門振科 五六

蔣政権に

V

ヂッ

の既に強え去りな

許容說

事を担絶すると共に民間の借款交渉に對しては之を承認乃至保證する事を断はつた為事が、ロンドン支局フレデリック・クー氏は一日英國政府が蔣外権に對し軍需品以外の對支那輸出に就て五千萬乃至六年高のクレデットを興へるとを計畫中であることを報ごてゐる、即ちじてゐる、即ち

上の薫要機動として靴は中央 軍の有力部隊を配し要害武穴 である、然るに怒誘の如きわ である、然るに怒誘の如きわ

しきりに

四川懷柔手段

在接続の為二日正午来赴した世級長に築轄の川田正朝氏は就

田中滿業理事は三日午前七時田中滿紫理事は三日午前七時田中滿紫理事は三日午前七時 中銀川田氏來社

8月 5日 6日 記念公會堂 前 1.60 ¥1.80

人、若しも汝が獨逸の姿芽コーヒーを好ま以ならば獨逸相にはなら以下九、衣服には獨逸相には獨逸相の有を用り頭には獨逸を破らればならぬ。一〇、外國の御機嫌取りに送はされて以上の被律を破らればならぬ。一〇、

に起用

日 曼敦峰西方四キの松乙峰射近 前川および前岸地影偵察のた がすべく験長および兵二名と共 が すべく験長および兵二名と共 が すべく験長および兵二名と共 を潜り前進中。数日東の降雨 により増水、濁流の渦絵は事 により増水、濁流の渦絵は事 により増水、濁流の渦絵は事 により増水、濁流の渦絵は事

店に御座います C骨費の中より20 銭献金いたします



【上海二日發展通】二日午後 九時艦隊報道部競表 = (1) 八月一日海軍航空隊は九江上 流蜿蜒二百哩にわたり江岸醴 新に敵艦、敵砲艇、軍用或克 間は北京 (1) 總動員令發 (イ)上洗 澤水道四家鑑、 一三を選比、五を大破、 一三を選比、五を大破、 一三を選比、五を大破、 一三を要を選批、五を大破、 一三を要と大破、 帯に三り 学高地の神地及び防製施設 学高地の神地及び防製施設 が破壊す(ハン下流残存庫 が破壊す(ハン下流残存庫 が破壊が無いができる支 がにたムきこむ豪華を敢でせ り

行 北民政艦長殿軍、同教育總長 報によれば、漢口行政機關の 京洋岩及び政治部顧問の共産 移轉により軍礎は地方政権に 強 出で展工、商、學、婦女各界の は空襲に對する遊離堂、トン は 最時訓練を開始する等である 木ル開鑿米等があり、トンネ は 最時訓練を開始する等である 木ル開鑿米等があり、トンネ が 11度に 遊離 12 が 11度に 遊離 12 が 11度に 21 が 11 が 11度に 21 が 11度に 2 トンネル開鑿

全力量集中

30.

王兆銘

重慶

【上海二日汾陽通」行政各様 関民政府は更に中央黨部およ び各院、各部、各會の在武漢 が事處を一切殿止し、勤務人 負はすべて重慶に移轉するよ う命令を致した、右に關し國

の如く鮮明し、政府の武漢始 の如く鮮明し、政府の武漢始 表して薫部の移轉の意義を左 央は全國指導の見地より右と各機關はそれと、辨其臨し各機關はそれと、辨其臨し各機關はそれと、辨其臨

漢防衛の力量を更に强くす たり軍事に重監をおくに至 たり軍事に重監をおくに至 たり軍事に重監をおくに至 が、この事は武 で、この事は武

やい漢たのしるみは うか放、辨めた武日も にら秦以事ため漢本の

であるものである。 であるものを地域である。 であるものである。 であるものである。 であるものである。 であるものである。 であるものである。 であるものである。

豫定である「 「会官」

日開設 日午後九時十分遊表=二日午 後六時ソ聯の飛行編除は剛門 江右岸朝鮮領に越境し古城方 「京城園通」朝鮮軍報道班二 日午後四時四十分登表=一日 「京城園通」朝鮮軍報道班二 リ側の飛行機が不法にも数次 にわたり越境して消鮮事道班二

地震を爆撃せるが、二日午前 に は は なっ は かい に は かい に は かい は ない に い と が ない と い と が ない たい かい が ない と ない と かい で に あるが、 電なる り 機の 洗 機 的 行動 に 野 に かい で に あるが、 電なる り 機 の 洗 機 的 行動 に 野 に かい で に ある が、 電なる り 機 の 洗 機 的 行動 に 野 に かい で に ある が、 電なる り 機 の 機 で 質 つ

政死傷二百 五十 わが方犠牲州名 「京城國通」朝鮮軍報道班二 日午後九時五十分選表=州一 日排駒沙草峰、張英峰附近に おける最剛の損害について引 日、一日にわたり更に五曜

△我軍 職死三○名(内トの見込み(職場道案死體七の見込み(職場道案死體七の人) (職場道案死體七の人) ()

如しでに判断せる被釈の死傷

龍歐的

停するか抛棄するかの問題を 【上海一日酸園通】武漢を防

場としてはでは、必要なる時には即としてはこれら自衛團に組織としてはこれら自衛團に組織としてはごれら自衛團に組織としては近れる、民衆武装の問題は共産黨側がその職術的必要とり最も求むるところで國民といばれる、民衆武装の問題は共産黨側がその職術的必要とり最も求むるところで國民

- 英國大使は、二日梧州から 長沙を經て廣西に入り桂林、 長沙を經て廣西に入り桂林、

長三島通陽子以 大イ勝軍と日島 が出迎へ、三島 は一日晴れのロ は一日晴れのロ は一日晴れのロ は一日晴れのロ は一日晴れのロ は一日晴れのロ は一日晴れのロ

が開催し左の諸事を開催し左の諸事

東京大和撲の奉天兼込を迎へ未曾有の不詳事 羽华眼科 電三四二五五五

四日はベネ 四日はベネ

一行は殊更に日程を定めず現 を東京を出験、一日午後二時 を東京を出験、一日午後二時 が対の清津經由満州へ向つた の大で清津經由満州へ向つた け今月末瞬京の**豫定** 地の情勢に即應して質習を**要** 哈爾濱郊外で

長期戦に臨んで

(下)

日本國民

哈爾濱郊外顧鄉屯に多数の選 掘に着手

八百五千五第

本 福力流けついあったものである。 で著名な質珠翔を部長に迎った軍事委員會政治部がこの軍で 大問題を一気に可決したことに 大問題を一気に可決したことに

引下げ正式決定

下げ問題については近海運賃ならびに傭闘して重要なる役割

船料の引下げる かねてより海に関し

た東京各大學の農科、醫科、 大東京各大學の農科、醫科、

朝鮮にも

工業組合令公布 (京城園通)總督府では多年 の要望であつた朝鮮工業組合 令を八月一日附で公布近く施 行すること人なつた、同会は であるが、本会による 工業組合は削鮮の特殊事情に 工業組合は削鮮の特殊事情に 工業組合は削鮮の特殊事情に

滿鐵辭令

会ず(七月二十八日) (新京支社) (新京支社) 明査部会料理 開査部会料理 勝員 三 好 第京列車區被客事務 一日) (本月三十日) (本月三十日)

引取らせたが、窓天球界は

舞鶴、新舞鶴の 市制施行

助和會に付き語 の供 の件 の件 の件 の件

國防皇軍慰恤献金品[靈]

取扱に闘する

開金支出の件 開金支出の件 の要あるをもつて の要あるをもつて の要あるをもつて の要あるをもつて

世をそれと、時間するはず

ない は は で で で 一日午後六時から奉天賞楽

| 金二萬二千二百八十六圓八十三種五厘(最東地司令都) | 金二萬二千二百八十六圓八十三種五厘(最東地司令都) | 金三百圓也(國防能基金〈)| 金三百圓也(國防能基金〈)| 金三百圓也(國防能基金〈)| (最東地司令都)| (最東地司令都)| (最高)| (最高)| (最高)| (最高)| (最高)| (最高)| (最高)| (最高)| (是高)| (



分チーム共制収

於五日午後四時よ

消暗

さまた。 では、大きかで大 11 〒6888日本から引

京現住者に限る

日稀に見る盛

商况

機造

(短期)

國務總理大臣

れても此の旨を誤解せられ町に家屬並親友に御鴨達あられ ん更

正 又醫者のであるとが必要である。 世者の實驗であるのである、或は 大子不愉快なる期があるが、此 を作らせることが必要である。 であるのであるとが必要である。 であるのであるとが必要である。 であるのであるとが必要である。 であるのであるが、此 者の實驗であるのであるが、此 者の實驗でもあるのであるが、此 者の實驗でもあるのであるが、此 を作らせることが必要であるが、此 を作らせることが必要である。 であるのであるが、此 であるのであるが、此 を作らせるにとび必要である。 であるのであるが、此 であるのであるが、此 であるのであるが、此 であるのであるが、此 の時の報告を手では 者の質慮でもあるのである。

大法は用量を遞減することが 最も良策であり又王道の辨法 である、若し堅固なる決心と 参加さへあれば必ず戒絶の目 のは達し得らるとのことであ 方策である期限を定めて正さであ 時である期限を定めて画祭 世しめんとするも蛮し断禁の 時に公布せられ今や絶對に姑 自警自戒せよ更に諸君に望む 自警自戒せる者を以て親友を 激勵し胃験心と僥倖心を有せ

一個五〇、複1六個八八十個五〇、複1六個八八個3八個八〇、指形八〇、指形五九一個三〇2一六八個八〇、新州四〇、「新州四〇、「新州四〇、「新州四〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇、「大四個〇〇〇、「大四個〇〇〇、「大四個〇〇〇〇)」

馬(六頭、二、11〇 本成配當 - 單五九圓 本成配當 - 單五九圓

秋期選手權大會

七日電々コー

若手選手の活躍期待さる

一分三一秒二32 第 一般馬(七頭、一、六 を外五八道二〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八道二〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八五三〇 大型1八五八道二〇 大型1八五八道二〇

四通一七小島ビル 日七番地吉村金太 日七番地吉村金太 東國際院胡同五五 一七小島ビル

メ長期建設への 道陸軍大臣板垣征四郎

物 ※ 変化中の米関六選手、ドイッ 級をレーマン選手等强豪を交へ 関際色も豊かに奉行、ミドル 保された 果原(判定) ダロー (米)

石黒(抱返し)コンデーへ **) 「、ライト級 古岡(判定)マスデイオへ まドル級 「、ミドル級」ブルイ(米) レーマン(傷) 韓固め畠山

婚

路市營住宅一 治子 路 州 院 大 路 柄 院 大

性評論 日 - 李阿大の妻

口暑中休暇の見童がらた習

慣をつ

月武徳へ六月十六日) 漸惠子(六月

为健文 (六月二 月九日)

川二十一日ン

戦口詩榴問口・の

村里小

哀結

學口

支口

馬(六頭、二、〇〇 五郎長男栗一 一中野正彦庭永 一中野正彦庭永 八日二多田潔

八番城山本進

1、六〇 文雄長男文也(七月一日)十(七月一日)十(七月一日)十(七月一日) ·子三女美子 () 一十六號ノー

からお

地宮田伊作

ら如何なものでせる、次手段で撲滅策を實行に移ただけでは駄目です何等なものできなるのできないますが間回なり横がしたら端がかけばればない。

頭二郎 六六

位子(六月二十日) (六月二十日) (六月二十日)

曙生きるの家庭

大曽け一日夜日比谷音樂堂で 四選手 権 大 會 選手 権 大 會

2 グ

*若い家庭の經濟に だ決婦の生活 なおい家庭の經濟に だ決婦の生活 なまる 生岩夫婦手帖那等第二 新家庭十訓久米正雄異體同心の捉 生理学的立場方林 を生 ◇平凡の か 州棘の途をゆく・ニネラデ

(短期)

縣 老夫婦が多十條 帆足みゆき 井上秀子

生人にお 說…如中明于 わが子に望む □早産の知識と早産見の育で 口赤ちゃんの □夏と赤 ちゃ ん定方かめい 方川 添正消

× 四字生諸君に取いか、文部大臣荒木貞夫 フ將軍の妻小野光二 三十八年間のデバ

本円から生れ ★圖書は乙だった 七の字の由して表表 生の現代型が記

無口と我慢生の一般の異端

◇東京の女◇大 のアマソン神近

を(洋装の教室)…伊東茂巫田が衣地で夏の平常着

非常時の家庭経済にすぐ必 八好評でする

何が使べなくなるかの何が代 がし、合のは何か。代用品のようなでもなければならない問題であると同時に家庭經済を守る私達と同時にならない問題であると同時にならない問題であると同時にならない。 (利達のような) はならない。 (本語のような) はない。 (本語のな) はない 代用品

て自らを説め関都の騒然たる

で保ちたい

(受都生)

次は本洗ひに

だらけた氣持にな

赤ち

P

夏の警戒線上五指令

お家庭よ御用

熱に

躍る

悪の華

食か合せといふことを科學 からといつて無闘心でもいけがらと云ふずは殆んどない。食ひ合せそのものは迷信的、像説である。しかしさうだからと云ふて、根も葉ないからといつて無闘心でもいけがらと云ふて、根も葉ないからと云ふて、根も葉ないからと云ふて、根も葉ないからと云ふて、根も葉ないからといつて無闘心でもいけません、以下述べることも常

科人 婦科線/児内科病性外

意施院入<u>室室</u> 九三通安興宗新 一二九一次0四一(2)画

無し、暗にらごめく の混紋の擴大線にそ の混紋の擴大線にそ の温紋の擴大線にそ

一、水泳場専門の物経は子供の影物に限を付けるから、の影物に限を付けるから、 腹ちやんや坊ちやんは水を 見てもあわてずに、水泳場 や、ブールでは監督者の限 や、ブールでは監督者の限 のとょく處に前物を脱ぐや のとなく。

戸籍を忘れると物屋千萬な お台所でほんやり生あくび お台所でほんやり生あくび お台所でほんやり生あくび お台所でほんやり生あくび お台所でほんやり生あくび

土意・一、つぎは夏苦しい夏の夜、

曲者、靴がつけ目で

二足、三足と手もないとつ、 流齢期の娘さんにからみのく不良は、親切ごかしやなどからも現はれる。 などからも現はれる。 などからも現はれる。 などからも現はれる。 などからも現はれる。

はないないは、一考になっているのは、一考したのは、一考になりした。

品で、安心して大いに食ひまれ殊に夏のものには、ピまれ殊に夏のものには、特するから、病人や干供、特を加症の人には結構な憂鬱

科學的に解

剖

食ひ合せ

その根據は案外薄

ば食欲を増し消化器を助成す 方はよく熟したものを食べれ



、三五家庭メモ(哈爾濱)

二中1佐

巡養タ

2

7

"

新

玄

茶

入荷

大子党前都居《三》六四二七年

防調座

七八九五(3)電

(日 曜 氷) を この間隙に墓の眼が かっない で 「ノビ」といふかの窓盗と、避暑行の ないる性的犯罪 に挑發される性的犯罪 ンヤッ、白セル・富士絹のブラ つて、折角のズボン この時、はげしく採まね事での液のついた布をそのまって又薄い石鹼を作りかへ、よ その中に五分一十分つけて な く摑み洗ひをして、残った おき一方、 軍距硫酸ツーダ で が は しい この時、はげしく採まれ事で の液のついた布をそのまった かってブラシュで擦ります。こ いた微温機の中にタエン酸 仕 の時、はげしく採まれ事で の液のついた布をそのまった かってブラシュで擦ります。こ いた微温機の中にタエン酸 仕

なく程度に、たつぶりと石水を捨てム、マルセル石鹼を水に薄く溶さ、洗濯布が 状に漂白は、

、何度も水でするぎ

中 六、三五=ユース 一 六、三〇 作 東京) 六、三〇 作 東京) お知らせ (大連) 大池 中の (東京)

無

線

小野

ふ

番

組

三 新 田京中

水放 O H H H H

はげ接至

|帰〈豊〉田中・上

00

四〇北浦の

コは、タエン酸を溶 も香の失せる迄水洗し、紋すめます。その割 らないでそのま、洋服かけにかけて日雷りの繰りしない 風通しの良い處につるしい 風通しの良い處につるして乾します。

版 仕上げます。 地下コテ、表から一枚布を あて霧を吹いて火のしをあ て仕上げます。富士絹は裏 から霧を吹いて地下コテで

(天逋)

を要という。 でデンター がエン 作 ル

マングレコード (マ)花絵大郎 ・大田絃大郎 ・大田絃大郎

(問) 産生れた時八百五 (問) 産生れた時八百五 大、月々韓軍の測定を致し度 た、月々韓軍の測定を致し度 た、月々韓軍の測定を致し度 大、月々韓軍の測定を致し度

重增 (答) 競手級には生理的 を表示のは赤坊の設定には生理的 を表示のは赤坊の設定によるも を表示のは赤坊の設定によるも を表示のは赤坊の設定によるも を表示のは赤坊の設定によるも を表示のは赤坊の設定には生理的 を表示のは赤坊の設定には生理的

0 粗 談

いるなどもよさることの概弦どもよさることでは聴展なく、これられの心臓に犯罪防止響にない。これられの心臓に犯罪防止響をしくよりほかはないでも余家庭への注意を

加があるものです 一二ケ月 二十二瓦 一九ケ月 九瓦 一十二ヶ月 九瓦 一十二ヶ月 九瓦 なり

官が衰弱してゐると忽ち腹をという。そこへ運悪く暑さのためにその他の原因で消化器に関の働を緩慢 るが未熟だと青酸といふ話毒 れば恐しい中毒を知すのは當 ますが、そんなことは全然 牛肉とほうれん草 牛肉は多量の「山白質」

た数の子」「合材と甘藷」「 らと茸」「玉蜀黍と蛤」「桃 るが前に述べたやうな理由 せると悪いと一般にいはれて はななない。 河豚に青菜 「白瓜と油類」

九、三九時報・ニューリスの情報・河川水は気象通報・河川水は 海灣 海灣 河(第二夜) (第二夜)

全国薬店にあり

幾經千木優

製え 大日本製薬株式會社 本店 大阪道修町

包裝定價

100能入 0-13 300能入 0-30

もあり

して普~賞讃を博しつ信格低廉なる新下剤と

もなる

版を食べる際に注意すれば食ひ合せとしてで したものは危険である したする。あけて時

大雷

に辷りゆく

※水は非常に冷たいもので 水水は非常に冷たいもので を超さないものを過食すれば胃腸障害を超し下痢腹痛 が水がよくないものを過食すれば胃腸障害を超し下痢腹痛 を超さのは営然である。 を超し特に夏場は朝茹でたる を起し特に夏場は朝茹でたる。 ヴェン編曲 (東京)

なり又ヒマシ油代用と なり又ヒマシ油代用と なり又ヒマシ油代用と なり、然も で 服用極めて容易、然も を 以つて小兒、婦人 を なりので 服用さる で 服用さる

七薄毛 セナチゾール 本類な化膿の怖れあるで減じ剣面を遠に残傷に塗布しまる物態に外傷に塗布しまるが東遮に現れ、局所 大日本製鋼株式會社 (では 第200年 第2001 第200年 第2001 第200年 第2001 第200年 第2001 8001 松地語る歳の裏店に有り すっして治 防で れ性を 治療に 内腔のと

新 京 電話 崇智 3 路 ナー 六 0 六 五 番











所賣惠任賣藥淋府別

三日の服用でウミや痛みも消えて一週間で全秋に様く **| 神薬|| は淋病コンケにキヽメ早て如何なる難症も二世界一の温泉都さして名高い別府市で出來る「別府** ネオサル銀尿道坐薬一遍分及淋滅器正同二四無代道是 な、直接患部に滲透吸收、数質するを何二國の 無代達呈 る、直接患部に滲透吸收、数質する 则府皮膚繼 未输 岩里 天然堂 展著下開天五百〇番

版用 二三座

止めると思ひつめた

「母さんは毎晩私を迎へに来るの――あゝ、きつとひどい目にあつてるわ。」 その愛がいかに深いかを示した。それは彼の好奇心を動かした。伴しく後女の家庭の事

「私小さい時はそれは面白かったのよ!朝から晩まで街を走り廻つて遊んでたわ。父さんが毎日店から赤や青の砂糖菓子を持つて来て下さつたわとして、 夜になつてお菓子がなくなるともう泣いたりしてる

特に出て見るがいい、もう租 特に出て見るがいい、もう租 別でも戒験やつてるから!! でまた見なかつたからいいん だよ、電柱に血のしたたる首 がぶら下げてあるんだ、強いて、 でまだ見なかつたからいいん だよ、電柱に血のしたたる首 がよら下げてあるんだ、歯が は皮は後の言葉を聞いて、 のて人をおどかしつけてゐる かんな租界の方へ逃げてゐる のでるなかつたら逃げる者も でも成りであるんだ。 数寸方の

「報?能だつて?」 ではさら薄ねた。 「私の母さんよ。」 「何處に住んでるの?」 「開北よ。」

彼女は一杯茶を飲み、そ

今度はにこ

大会随意 慶應看護婦會 ※ 派遣婦會

清 社

迎络本自10-三年

明日の晩お暇でしたらい

でなかったら、よ

逸の

たの……」

電3 四七八八 電3 四七八八六

日本タイプ

綜合教授

スト登集

見京

G

電話心金融

備設生衛房燈

柳東書屬州滿路周七四

文化評議會回

を要の要地環家口について を表の要地環家口について を表示したもの(参天市大和 を表の要地環家口について を表示したもの(参大市大和 を表示したもの(参大市大和 を表示したもの(参大市大和

「本書だとも「僕はいま南市」のとい奴だ!學生や職工がどれたか到らん、君れたか到らん、君

被女はそれや聞くと、もう をしつかりと寄せて、兩手は 絶えす紅色の服の襟を挟んで

り泣いた。

あたしの母さんはどうしやう!

後は彼女のいたましい話を聞いて、無限の同情を感ぜずには居れなかつた。彼女にハンカチを獲し涙を拭かせた、

お夕食おあげす

ħ

姉さん」

お兄さんもよ。

んは一番に來るわ

あやうにお招

心の中は今夜雄二の來て臭れ

「早く来す」 「何人位なの一體」 「何人位なの一體」

智子はあはてて、 温のみを

けて、明け方になれている。

生態命に心を落つけやり子は心の中で自問自答し

楽

內

10

度目をさま

で首かしげたりしておかし方が智ちやんは」

しておかし

たなからない。 でもひと頃親負のではない。 でもひとではない。 でもからないしてのはない。 でもがてそのまではない。 でもがことができない。 ではない。 らやつと違入つて來た れも送嬰

で、愛せられな妻として一生を没ないか。 に、愛せられな妻として一生を没ないか。 に、愛せられな妻として一生を没ないか。 に、愛せられな妻として一生を没い。 でもべき関値を失ぶまいと、その子を自め地位を失ぶまいと、その子を自めの坐らべき関値型の傍に坐つてまっ死んでゆく。 まごまと描かれてゐるのだが、結まごまと描かれてゐるのだが、結まに、よる女の外貌を描いたと、 ないが、 - 完本義「稻宴」

国間接會員は全部會費を納むべ で加入する者は何れも之等評 で加入する者は何れも之等評 のとす。二以上の評職會 で加入する者は何れも之等評 のものとす。

本日本少女(七月號) 上村哲彌「七月の言葉」石 森延男「邦ちやん」その他 森延男「邦ちやん」その他 を を を る(東京市麻布區市兵衛 町二ノ六一、鳩后書房、十 銭)

印刷及帳簿 三友社 無點③三四二四 得 專 門











番五七七三③電





北日本濱船二張

野行船車連絡の存を

大遊九州行近 淡路九州行近 一三月、十四日 一等二人區 學二人區 一四國一一上國 一四國一一上國 一一四國一一上國 一一四國一一上國 一一四國一一上國

金金 新京日本橋迎三十

店京

濱 特製品カステーラ カネタ製麺麭工場 御 用達











られて、智士をはつとさせた のよさが子智の目にやきつけ のよさが子智の目にやきつけ でもにも白く額と黒髪の野の 6日の方が多かつた。1 記談に思つて 記談に思つて 記述さて来なか すっした心を押し去るやうに急がらづまいてゐる。智子はそ がらづまいてゐる。智子はそ

春にふさはしく粧つた姉の姿にはみられなかつたが、離と は弱くなつた姉のどことない 今更のやうにうつつて、夕べ から持ちつづけて来た不安が ふとまた心の中でさわぎだす り 雄二さんが來れば凡ては ※ない々 ならきつと

た色のよぎるのをみると、姉

け直ちに效力を設生す

地方文化管理者との

色のよぎるのをみると、姉智子は姉の瞳の中に淋しげ

さんのお兄様、よい

「そう」 智子は姉の**置**を

姉の間をみつめなが

夜言つてたから、でも若った事ありませんからつた事ありませんからつかいはずだから々

T級にたらなくつちやあ」 「お姉さん駄目よ、お姉さ 「私止しときますわ」

家庭の事を話し出すと、彼女はその活潑な顔をしかめて 対痛に長い溜息をした、その きれいな眼には涙が流れ出た 「家つてば私はまだ子供だけ ど、辛い氣持になるのよ、あ 」、若し私の家が五年前と同 じだったら、私いまこんな所 に來る必要はないのよ、こん な所に來て塞づかしい目にあ 職會との關係に付いては左の

下議會會長に從處す個々の評

では、

状活質調範但長し地、に 態動域逸園レ叉得方標從 に集内文内許はる文利施 に集内文内許はは化産す 習會長及專門和合長物所は從前辦り個々部議會會長に從屬す。配會會長に從屬す。

女は、女子専門)の新都職業紹介所へ新都職業紹介所へ新都職業紹介所へ新都職業紹介所へ新都職業紹介所へ新都職業紹介所へ新都職業紹介所へ新都職業紹介所へを作さざる品のでは、1000年間に可能的は1000年間、1000年間、1000年間、1000年間、1000年間、1000年間、1000年間、1000年 大和運輸公司大和運搬公司 機震衛物 議委の報備官

数主要各肆並各地

タイ

プ印書

代立書案

電

整丹 御指定 整骨院

かなる茶道と りまな園 月期

从博麦屋

政学者と、無度的道

聯占黒与扶 緑林館り桑 丸丸丸丸丸

木と 電話及金融

新京人府町一ノニニノニ

門司、神戸(大阪行









カン バン 大製車一〇六 紫雲社 大製車一〇六 紫雲社 大製車一〇六 紫雲社

吉光









神効あり神武楽 ツウマチス 海連町二丁山



















正金銀行

(%

母

發 新

◆症應適▶

小兒科疾患

消化器疾患

强

精

回

春

搜勢恢復、精力增進、

早老、 エネルギー

在庫豐富

高木

婦人科疾思

姙績に依る便秘、

及び脚類、

テパートにて販賣す 奉天總代理店

定 價 粉末 錠劑 1,000m 五〇〇瓦 BOOM 100瓦 九〇段 = * = 00 00 00 00 九 二 00

元 賣 發 所究研學化養榮田本滿日 一大二二京新菩擬 卷六六四二 2 是路位

元 造 製 所究研學化養榮田本滿日 **购場工社會式株粉製滿日萬碗哈** 最人四四五淡代 話 配

各國

屬品式

目品汲取

東亞ペイン

新京日本橋通二五

電話石炭幣。二〇三二・五三八八

疾思

であります プス赤嗣・衛化不良、胃下垂症、胃潰瘍、急性慢性胃腸カタル、 症、胃臓瘍。消化不良、胃下垂、膿縞核、カタル性黄疸、コレラ、チ胃腸病、急性慢性胃腸カタル、宿弊、常習便秘、食慾減退、胃酸過少氣管支炎、体質腫棄、盗汗、負血、熱性疾患、糖尿病、胃臓炎、物質症、患血胀下降、骨血作用、病後衰弱、利尿、泌尿器疾患、心脾氣症、肺結核、肺炎、肪膜炎、腹膜炎、診認衰弱、老人性囊腫、

不全特に人工乳汁に混入煮熟する 原田、子帽浮雕性疾患、乳針分泌不全 は小見の發育促進了」、終便、粘便、人乳中毒、酸為

酒軍

保用品

卸

體力改造は榮養素か

学外線の最も强力なるは夏季であり地球の偉度では百二十度より百三十度の地點であります、之に適合せる北滿地方の植物はピタミン複合體や蛋白榮養價グリーテンや植物ホルモンの含有量の大量が世界的最優秀なることは事實が證明して居ります。 ミンBであります。 榮養素 植物ホルモン は 構 6



室内外の塗装は 開東軍・ 社名 TA 天野商店塗裝部へ 滿洲國·御指定 電話代表③六二二一番



原 age 特許 特許 崎松 務





〇純 0單 0單 〇單への 新京吉野 の錦紗 1 力 久 地 盤話 新 3

動 電 菱 三菱電 三菱電氣グラインダ 氣 辩 通速溴天泰

歡迎 吉野町

柳屋質店 和洋服は特に勉强 お電話次第 御相談に應じま 二丁旧平本洋行 荷引物越 荷造運送 荷造迅速、 水祭町三一自世

叮嚀格安取扱 電富話士

目課業營 尚高人には通譯を要せず 一般測量及製圖石鑑定 業法二依 ル正規製圖並出願手 新京八島通四四 土方龜次郎

ルキでもつて殿道に消壊れた、市内九ケ所より砂

日午後三時五十分茫家屯驛帝 と同時に一般乘客車輛もスト ツブを命ぜられ、乘客約二百 七十名はそのまゝ雛詰めにされ午後六時新京驛磯の新京特

在京日本畵家が

を結成

に來社 に來社 に來社

月期し作品展開催

時的になつてゐる

70

決定した四日の

都市對抗野珠第二日けふに延期 「東京関連」全國都市對抗野球職第二日の京城對函館、大津對鞍山及び川崎對新潟の三 は合は雨天のため三日にその

開催過般來研究生活用品の合同

個人別に注射實施

車内の大消害

范家屯驛大混雜呈す

京歴防疫員三十名は 関都の衛生防疫陣を 生職長は一般市民に防疫方法 (では)の火災観 は整へられた、村川市公署衛 でく煮たもの続いたものを 食べよ) について左の如き三大注意を 一、飲食物に注意せよ(成る 食べよ)

家屋多數を出した、大阪府下 ・では二日午前十時現在七千五 ・一九戸(市内六千七百六十戸 の浸水家屋を出したほか、 新淀川支流の安蔵川は三島群 玉島村右岸で四十間に直つて 狭潰、同村ならびに三宅村一 か戸では阪急治線住吉川阪急

出版的軽微で危険期はすでに 本った、なは今回の豪雨は京 都、名古屋地方から四國にま で及んでゐる

工東新京

民生部 262127 241229 工場京

第十齊 關胡岩 張出

佐陽深 張小劉 陶白馬 前 中 後

民生部 21 中與

(日 曜 水)

大阪國通) 陽西地方一帯は 大また豪雨に見鮮はれ各河川

滿日文化協食三僧で昨年開僧 立れた宜韶配念美術展覽會も 古月絢爛たる美術の華を國都 正民物である美術の華を國都

変の間に日本書家の間に日本書家の間に日本書家の間に日本書家

敷納に開する打合せ會は二日毎年協和資が行ってゐる馬響

出席のもとに開催、馬草乾燥室で協和會中央首都兩本部職室で協和會中央首都兩本部職

阪神地方又も

躍を選げるものとみ

豪雨に襲る

豫防注射を受けよ

直ちに鐵壁の防疫陣

新京行(線) 爽

乘客全部を范家屯に足留め 防疫員現地に急行

三味線がひけませんといふ姐さんやとても仕事は出來ません。もういけませんといふ女とれも致方なしとして實行するが、一般市民もまだ受けてるない者は至急強防注射を受るない者は至急強防注射を受

ふ

對新京軍ラ戦 慶大軍を迎へ

野外演奏會、

民謠發表會など

音樂堂完協會側張切

小数の輝負ながら

二日午後八時范家中間に入つ た情報では大連で乗車せる〇 一時就が悪化のため瓦房店、率 中病狀悪化のため瓦房店、率 天で下車せるもの附添とも六 名、公主横に隔離せしものは 座談會開催 電氣化學工業

接龜山博士及び鴻鐵中央試驗め去る廿九日來京せび東大数め去る廿九日來京せび東大数

は絶對酒を用ひないことへし は絶對酒を用ひないことへし は絶對酒を用ひないことへし

圓を突破

百二十七名である 上海コレラ 三千八百餘名

陸軍病院で檢疫中である

海軍部へ の献金 九澤城士殿

目はつぎの如

眼科

東海道線塗坂山 東海道線大津、山科間 が山キンネルで土砂崩壊の が下り線は不通となり午前 一時三十分から上り草線運 を行つてゐる

さわ

優秀技術者募集

稲本よい友 い先生

新京市民排球大會第二日は二 日午後三時半より日滿高事コートに於て奉行され、A組民 生部、B組では電架が優勝し た成績左の通り

駐在所薪京八島通二八電(3—2585)

興安大路五二六號第二盛滿ビ

やかな調髪

御用は

の絶對信用の出來る店

正確なる眼鏡は弊店より 完備せる眼鏡店

中山眼科醫院和識別所以與科醫院

击

の寿用

EN 100 00 00 PE 整 話 3 A

世帶道具 0 藤 15 陶

自由 酒c道温 だ其のうまだ。 六五

高 三一変と

發送電案決定

鴨綠江水力

満鮮合同協議會で

出席し協議した結果左の

無き矢けるの温ふ氣の

とに都合の好い話がある…」

診叛人ちゃし

釜田郎は耳を傾けた。

いちゃいかんよ

長七郎は

「起説一揆の疑問、研支刑の領人」

所軍家の甥御に相当ないが、いな『サア其處だ。なるほど身分は、

域代の小野原三右衛門に政人ると

Bを被つてあるが、でれといかの でなってあるが、でれといかの

とができたからであつたい

製五郎、進々ながら、

浮沈の一期

(サナニ)

O L

助

竹

tt

は旅から旅の渡り渡人。長七郎と

らずに戦しましたといつても立

整を低めた。

過を見越し、一ト際乗り出して

行かなかつた。

「ウムがってくれっか。

五太夫は相好を願した。

そとないふと、ソッと

節をやったととが、 「おまけにな、鑑江郎。

一致の沙汰にも物からうといふ。

紙に言語は立つ

岩。

新味思いのだが、彼には結局、い が大きかので、第五郎賞は、神 が大きかので、第五郎賞は、神 り、 海道第一の大銀分と、一足派 がく長七郎を殺つてしまへば、 其・バー の一大事とあって、 か一部、真層鐵太郎、平湖野九郎 「裏の先

熊外にもその三人は、彼の雨河 と生語して書る、 といつたのである。といったのである。 a e

川の天下を掌握しようといふ恐ろ、腕合ふより外に流は無かつた。 を誤らつて、精電家を怨み、父大「たど下手に出られて、鉱五郎"。 しい野心を持つてゐる。そとで で表の生生労を呼んで来い」と問いて、五太夫を送り出すと月の それから間もなく。 どんな相談が表え 五太夫は大

御新郡病院)

(日曜水)









切 作口 0盒 0丁



は、動物ので、観察地

院長隊學(饒 電話 路光慈 五〇 II O





核水切建製滿三吉杭 桃 批築材洲姓林 楸曲發用原各產產 色 零材木地材材 々 如售一及產木木木 聚豐木廠 1 1 3 四〇九四条





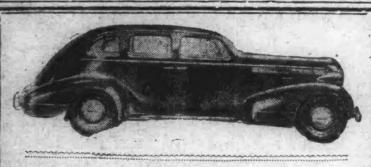
教特に食いたか。 であるため、から であるため、から であるため、から であるため、から であるため、から 七朝を占む



新

京祝町三丁目

南廣場與銀横



親 孔 叮 切

樂永京新 五町 細 亚 亚 7 二五二。四二五二③電

窓西 料 维 货 院

司

大

安賣

染

昆布酸豐 入院の設備あり 體語(3)三五九〇番の 吉

社会式株造製機電士富 所張出京新 記登臺(3)電 九三)通典中



婦儿科科 入買價高 随 商品券の賣買も致します 善 電③三一七一·六五三〇番 新京吉野町 記念公會堂前 堂

院

奨福 株子 大曹 電話③二六四四番



致して居ります 北支へ御旅行の節は 北京で 京 一番落ち 持 北京西楼楷胡同五七

京 本年の新柄 御 選擇 は 專 新 0 京 ちどりや京染店 東 條通り



遵 通 安 西 情不四 貸主公 电家部 化級 山克 爾拉能 爾哈卡齊 資源會



在出